

地震からのサバイバル いざというときの行動

五色園区自主防災隊

参照資料
消防防災博物館HP
日進市HP
大府市防災学習センター

1

自宅にいる場合

1. 身の安全確保

ゆれの最中で、自分自身と家族の命を守る行動を最優先にします。
まず低く、頭を守り、動かないようにしましょう。



2

2. 火の始末

ゆれがおさまったらすぐに火の始末をしましょう。

ただし、大きくゆれている最中にムリをして火を消そうとすると、大やけどをすることがあるので注意しましょう。

また、もしまわりのものに火がついてしまっても、小さいうちなら落ち着いて消し止めましょう。



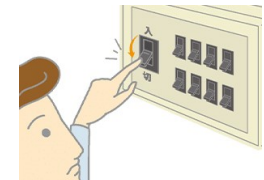
3

3. 出口の確保

ゆれがおさまったら、ドアを開けて出口を確保しましょう。
うごくときは家の中でもスリッパなどをはきましょう。

4. 電気器具の始末

家を空けるときは、電気のブレーカーをいったん切り、できれば電気器具のコンセントを抜いていくようにしましょう。



5. 近所への声掛け

我が家の安全を確認後、近所にも声をかけて安否を確認しましょう。



屋外にいるとき

ブロック塀、電柱など倒れてくる危険性のあるところや、切れたりぶらさがったりした電線から離れましょう。



5

避難するときに注意すること

家が壊れるなど自宅にとどまれない状況になった場合、最寄りの小・中学校などの指定避難所に避難しましょう。指定避難所にも危険性がある場合は、広域避難場所に避難する必要があります。

● 避難所について

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1. 指定緊急避難場所 | 3. 福祉避難所 |
| 緊急一時避難場所、地域避難場所 | |
| 2. 指定避難所 | 4. 広域避難場所 |
| 拠点避難所、二次避難所 | |

6

1. 指定緊急避難場所

指定緊急避難場所は、地域ごとに徒歩で容易に避難できる場所や集合できる場所とし、次の2つに分類しています。

緊急一時避難場所・・・第一集会所

身近にあって、避難行動に支援が必要な方を含めて、地域住民が容易に集合できる場所や自治集会所等を指定しています。原則として地震災害時に一時的に安全を確保するため避難する場所として想定しています。

地域避難場所・・・第二集会所

小中学校などの拠点避難所が開設されるまでの期間、一時的に過ぎせる施設、あるいは少人数の避難者に対応する想定のもと、地域の公民館などを指定しています。

7

2. 指定避難所

指定避難所は、被災者が一定期間滞在できる生活の場としての機能を有する施設を想定し、広さや備蓄などの状況を勘案し、次の2つに分類しています。

拠点避難所・・・相野山小学校

多くの避難者が数日間生活できる環境が整備され、かつ物資等が配備できる小中学校としています。

震度5強以上の地震で市が開設します。

二次避難所・・・相野山福祉会館

帰宅困難者・長期の避難者を想定し、スポーツ施設や福祉会館等を指定しています。

8



3. 福祉避難所・・・北新田保育園

福祉避難所は、災害発生時の避難生活において特別の配慮が必要とされる方々のために、民間社会福祉施設などにおいてもできる範囲でご協力いただきながら、必要に応じて準備し開設します。「命を守る」という観点からまずは指定緊急避難場所、指定避難所への避難をお願いします。

4. 広域避難場所・・・日進市総合運動公園 愛知口論義運動公園（駐車場）

特に地震災害から身を守るために一時的に待避できるオープンスペースとして、この2箇所を定めています。

10

● 原則は徒歩で避難を

地震が起きた時の行動は原則として徒歩で行いましょう。車を使うと渋滞を引き起こし、消防活動に支障をきたします。



● 持ち物は最小限に

道路が混乱して、歩きにくくなっている恐れがあるため、携帯品は歩きやすいよう背負える範囲の物にとどめ、服装は活動しやすいものにしましょう。

11

避難時の備え

非常用持ち出し袋のリスト

目安：1人1～3日分

各寝室や玄関など



2022.08 (Ver.02)

もしもの備え

パナソニックの電池防災グッズ



1人につき1つ以上、個人のリュックにいれるもの

必需品

- ☐ 飲料水 ※1人あたりおよそ500ml×3本
- ☐ 手間なく食べれる食品 ※1人1日あたりおよそ3食分
- ☐ 携帯トイレ ※1人1日あたりおよそ8回程度
- ☐ LEDライト・ランタン
- ☐ 電池式モバイルバッテリー
- ☐ マスク ※1人1日あたりおよそ3枚程度
- ☐ 常備薬・持病薬
- ☐ 保険証のコピー
- ☐ 印鑑
- ☐ 現金（公衆電話用の10円玉含む）
- ☐ 紙のハザードマップ



身を守るもの

- ☐ ヘルメット（頭を守るもの）
- ☐ 万能ナイフ
- ☐ カイロ
- ☐ 電池式の扇風機
- ☐ 歯ブラシ
- ☐ スリッパ
- ☐ 簡易敷マット
- ☐ 体温計
- ☐ 消毒用アルコール
- ☐ オールインワンクリーム
- ☐ 筆記用具（マジックペンなど）・メモ帳
- ☐ 軍手・手袋
- ☐ レインコート



みんなで使うものは家族の代表が用意する

- ☐ LEDランタン…メイン灯として使える明るいものを1灯
- ☐ 乾電池（ライトなど機器にあわせてサイズや本数を確認）…例）単3形の場合、1人1日およそ17本が目安
- ☐ 手回し充電ラジオ…停電時の正確な情報収集に
- ☐ 応急手当ができるセット…ガーゼ・包帯・絆創膏・消毒液など
- ☐ 無理なくリュックを背負えるか
- ☐ いつでも避難できるように、リュックの傍には履きなれた靴を

<イラストはイメージです>



●お車でお越の方

駐車場 普通車 23台

●大府市循環バス(ふれあいバス)をご利用の方 最寄りのバス停

「DAIWA防災学習センター」下車徒歩1分

愛称：DAIWA防災学習センター

正式名称：大府市防災学習センター

大府市防災学習センターは大府市が整備し、令和2年9月1日に開館しました。大和機工株式会社と令和2年9月1日から令和12年8月31日まで(10年間)、ネーミングライツ契約をしており、契約期間中は愛称を使用します。

開館時間 / 9:00~17:00

入館料 / 無料

休館日 / 毎週月曜日(休日の場合翌平日)

4月29日~5月5日・8月11日~8月15日・12月28日~1月4日

〒474-0056 大府市明成町四丁目37-1

TEL・FAX : 0562-46-2200

E-mail : bousaigc@city.obu.lg.jp

DAIWA 防災学習 センター



大府市

すい がい
水害ライブステージ



大雨による水害が発生する前後で変化するようすを迫力のある2面映像と音で体験。命を守る行動を「立ち退き避難」と「屋内安全確保」の対比とともにご覧いただけます。

おお ぶ
大府のへそ



さまざまな災害に関するハザードマップで、住んでいる地域の危険か所などを確認します。

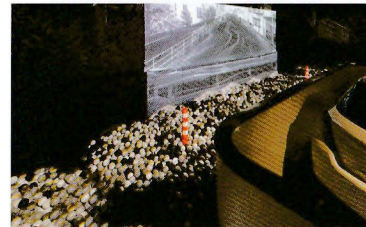
すい がい たい けん
水害体験コーナー

すい あつ たい けん しゃ
● **水圧体験車**



冠水した道路で止まってしまった車から脱出できるのか？水位が上がり水圧で重くなるドアを体験します。

かん すい どう ろ ほ ごう たい けん
● **冠水道路歩行体験**



冠水し、足元が見えない道路を歩く疑似体験。ふたのあいたマンホール、側溝など見えない危険があることを学びます。



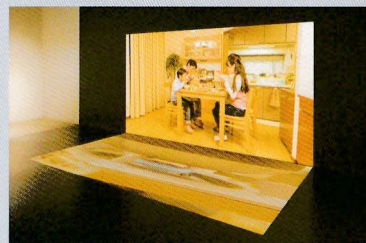
じ しん たい けん
地震体験コーナー

しん どう じっ けん
● **振動実験ルーム**



巨大地震により目の前で部屋がはげしく揺れるようすを見ることで、地震のこわさをリアルに体感します。家具固定などの大切さや地震に備えてできることを学びます。

じ しん
地震ライブステージ



ある家族に突然おそってくる地震。その場にいるかのような目線の映像で地震の恐怖を体験し、地震前の備えは万全だったか一緒にふりかえります。

か さい
火災コーナー



過去の火災事例から学び、消防設備のしくみや使い方を実際に触れて学ぶことができます。

LET'S LEARN DISASTER PREVENTION!